

営業所紹介 第4回 岡山営業所の巻



岡山営業所は、鳥取県、岡山県、香川県、徳島県の中四国の内の4県を担当して、おり、登録ユーザー一件数約2000件、大手造船・橋梁・鉄鋼・ビルドH製造メーカー、そして、中国（CHINA）まで、多くの業種に対応すべく個性派揃いのスタッフで頑張っています。所長の藤岡（B型）にはじまり、超マイペースな宇那木（B型）、更にマイペースな津山（B型）。この3人のB型に囲まれて苦勞の絶えない営業事務の日笠。

この4人のメンバーで、これからもお客様と一緒に業界を盛り上げていく様努力して参ります。

「編集部記」

血液型はともかく、個性的な男性陣に囲まれた日笠さんのご苦勞は察して余りあります。



営業所全景



写真前列 藤岡（所長）、後列左から宇那木（主任）、津山（係長代理）、日笠（事務）

「クランプフォト」大募集

あなたの職場で活躍している「イーグル・クランプ」の写真を編集部までお送り下さい。郵送でもメールでもOKです。郵送の場合はサービス版以上、メールの場合は解像度800×600程度のJPGデータで、あなたの「お名前」「プレゼントの送り先」「電話番号」を明記のうえ、下記のあて先まで送ってください。「現場の簡単な説明や」「クランプへのご感想」など簡単なコメントもぜひお願いします。

応募いただいた方にはもちろん【本物そっくり！オリジナルのミニチュア・クランプ・ストラップ】をプレゼントいたします。



（ご郵送の場合）宛先：〒542-0012 大阪府大阪市中央区谷町8-2-3（久野木ビル）イーグル・クランプ株式会社 EC通信編集部宛

（メールの場合）件名に「EC通信編集部」とご入力の上 kikaku@eagleclamp.co.jp 宛

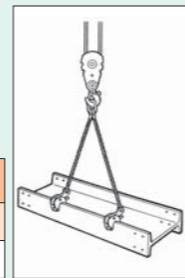
※頂きました原稿・写真はご返却出来ません。
※お知らせ頂いた個人情報はプレゼントおよび弊社案内物送付以外には利用いたしません。

表紙のクランプ

AC型 形鋼縦つり用クランプ

片手でとりつけOK、狭い場所での形鋼の水平移動に最適

- 短いフランジ部（最低60mm）でも取り付け可能
- 片方のフランジ部のみを掴んで水平につり上げ可能
- 掴みやすい取っ手で取り扱っても便利
- 玉掛も簡単なロックスプリング付き



形式	仕様荷重 最小～最大(kg)	有効板厚 (mm)	製品重量 (kg)
AC-500(3-20)	100 - 500 kg	3 - 20	3.9
AC-1(4-25)	200 - 1000 kg	4 - 25	7.0

イーグルクランプ通信

CONTENTS

- ・ 7月1日～7日は全国安全週間です
- ・ 歴史人物伝 近松門左衛門の巻
- ・ 営業所紹介 第4回 岡山営業所の巻
- ・ 「クランプフォト」大募集 プレゼントのお知らせ
- ・ 表紙のクランプ 形鋼縦つり用クランプAC型



形鋼縦つり用クランプ「AC型」

イーグルクランプ株式会社

本社 〒542-0012 大阪府大阪市中央区谷町8丁目2-3 (貿易部) E-mail: (本社) eagle@eagleclamp.co.jp
 東京支店 〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川2丁目2-10
 札幌営業所 〒003-0837 札幌市白石区北郷7条7丁目1-10
 仙台営業所 〒983-0014 仙台市宮城野区高砂1丁目27-3
 北関東営業所 〒373-0806 群馬県太田市龍舞町5342
 千葉営業所 〒290-0056 千葉県市原市五井1205-1
 名古屋営業所 〒456-0062 名古屋市中村区横前町551-4-1
 大阪営業所 〒542-0012 大阪府大阪市中央区谷町8丁目2-3
 北陸営業所 〒921-8011 金沢市入江3丁目132
 岡山営業所 〒700-0986 岡山市北区新屋敷町3丁目5-21
 広島営業所 〒733-0863 広島市西区草津南3丁目7-9
 小倉営業所 〒802-0064 北九州市小倉北区片野3丁目4-14
 長崎営業所 〒851-1132 長崎市小原4丁目2-5
 工場 〒630-0142 奈良県生駒市北田原町1570
 技術部 〒630-0142 奈良県生駒市北田原町1570

TEL (06) 6762-0341 FAX (06) 6768-5718
 TEL (045) 491-5355 FAX (045) 491-9633
 TEL (011) 873-6053 FAX (011) 873-6306
 TEL (022) 254-5161 FAX (022) 254-5163
 TEL (0276) 46-7331 FAX (0276) 46-7004
 TEL (0436) 23-4811 FAX (0436) 23-4812
 TEL (052) 419-1301 FAX (052) 419-1302
 TEL (06) 6762-2081 FAX (06) 6768-8275
 TEL (076) 291-2026 FAX (076) 291-2027
 TEL (086) 246-1451 FAX (086) 245-8951
 TEL (082) 279-6600 FAX (082) 501-2566
 TEL (093) 921-1286 FAX (093) 922-4379
 TEL (095) 844-9875 FAX (095) 846-2251
 TEL (0743) 78-0571 FAX (0743) 78-1639
 TEL (0743) 78-0571 FAX (0743) 78-0572

ユーザー新規登録/確認/定期点検についてのお問い合わせは
 フリーダイヤル 0120-119-080
 ホームページ <http://www.eagleclamp.co.jp>

第6号

World wide lifting equipment
EAGLE CLAMP CO.,LTD.

ISO-9001
 A.C.NO.YKA 0200132
 Design, Manufacture, Maintenance, Management.



7月1日～7日は**全国安全週間**です

(準備期間は6月1日～30日まで 主催：厚生労働省、中央労働災害防止協会)

全国安全週間は今から82年前の1928年(昭和3年)に「人命尊重」を基本理念に「産業界における自主的な労働災害防止活動を推進するとともに、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること」を目的にして始められました。それ以来、戦時中も一度も中断することなく続けられています。83年間も続くイベントって凄いですね。

ちなみに今年のスローガンは

「みんなで進めようリスクアセスメント めざそう職場の安全・安心」

です。「アセスメント」って最近よく耳にしますよね。省略して「アセス」なんて言ったりしますが、「アセスメント」とは「前もって調べて評価する」という意味だそうです。つまり「リスクアセスメント」は、職場に隠れている(または見えているけど気がついていない)危険の芽を調べて、安全の先取りをするために役立てようという行動なんです。

ところで、安全週間が近くなると皆さんの職場でも告知のポスターが貼られると思います。もちろんこのポスターも第1回目からずっと作り続けられているわけですが、初期の頃のものや稀少なものはお宝としてネットオークションなどで高価で取引されているとか…レトロな感じが収集家の心をくすぐるようです。近年では、女性タレントを起用したポスターも作成されるのが慣例となっています。その年の人気のあるタレントが選ばれますが、こちらは収集家でなくても心をくすぐられるところです。

さて、ここで問題です。今年のポスターのモデルは誰かご存知ですか？(答えはページ最下段に)

スローガンももちろん大切ですが、こっちもチェックしておかないと話題に乗り遅れるかも知れませんよ(笑)。

※中央労働災害防止協会作成のポスターです。各協賛団体で作製のポスターは他のモデルを起用しています。



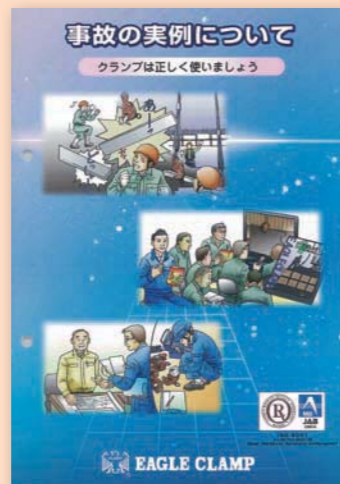
▲第10回(1937年)のポスターです。文字が右から書かれているのが時代を感じさせます

ぜひこの機会にクランプの安全も再確認下さい

イーグル・クランプでは年間を通じて、クランプの安全点検およびクランプの正しい使い方の講習会を実施しております。

職場のリスクアセスメント推進のためにぜひイーグル・クランプのアフターサービスをご活用下さい。

詳しくはお買い求めの販売店様、またはお近くの弊社営業所までお問合せ下さい。災害防止に役立つ小冊子も無料でお配りしております。



(答え) 川島海荷(かわしま うみか)さん



Dr. イーグル

こんにちは！Dr. イーグルです。第二回目の今回は弊社本社の向かいにお墓がある近松門左衛門をご紹介します。

近松門左衛門は江戸時代に活躍した脚本家です。歴史の授業で習った事を覚えている方もいるかもしれませんね。それでは、どんな人物であったのか？ 紐解いていきましょう。

歴史人物伝

近松門左衛門の巻

近松門左衛門(承応2年(1653年)～享保9年11月22日(1725年1月6日))は、江戸時代の元禄期に活躍した人形浄瑠璃と歌舞伎の作者です。本名は杉森信盛。生誕は諸説ありますが、越前藩士の次男として生まれ、京都で育ちました。京都で浄瑠璃作家の修業を始め、天和4年(1684年)、『世継曾我』(よつぎそが)が大好評を受け、門左衛門の浄瑠璃作者としての地位が確立されます。その後も名作を次々に発表し、貞享3年(1686年)、竹本座上演の『佐々木大鑑』で初めて作者名として近松門左衛門と記しました。

その後、元禄16年(1703年)、『曾根崎心中』を発表。宝永2年(1705年)からは住居も大坂に移って浄瑠璃の新作に専念し、正徳5年(1715年)の時代物『国性爺合戦』は、10月から17ヶ月の連続公演となる人気を博します。享保9年(1725年)11月、門左衛門は72歳で没しました。

辞世の歌「残れとは 思ふも愚か 埋み火の 消ぬ間徒なる 朽木書きして」。

◆ 作品紹介

『曾根崎心中』

元禄16年(1703)4月7日、大阪の曾根崎・露(つゆ)天神の森で心中事件が起こります。添い逃げられぬと知った堂島新地の遊女・お初と醤油屋の手代・徳兵衛が死んだのです。この心中事件は、すぐさま歌舞伎の世話狂言に仕立てられて、京都で舞台にかけられました。心中や殺人事件を、現代のニュースのように歌舞伎が取り上げるのは、当時の流行でした。しかし、享保8年(1724年)幕府は心中物の上演の一切を禁止しました。心中物は大変庶民の共感を呼び、人気を博したのですが、こうした作品の真似をして心中をする者が続出するようになったからです。

◆ 登場人物

- ◆ 徳兵衛=大阪の醤油屋「平野屋」の手代。25歳。真面目で勤勉な若者だが、少し世間知らずで一途すぎる点もある。しかし、当時の商人が持っていた「信用第一」というプライドを、“男の一分”(面目または体面の意)として貫いたあたり、芯がある。
- ◆ お初=堂島新地「天満屋」の遊女。19歳。素人娘のような純情でひたむきな性格。しかも気丈なところがある。恋にすべてを賭けて、死をも恐れずに立ち向かった気概は大したもの。
- ◆ 九平次=徳兵衛の友人で、敵役。実説にはなく、近松が創造した人物。金を借りていながら、借りていないと偽る強欲さと、強く言われればさぞさぞ引き下がる臆病さを併せ持つ小悪党。徳兵衛の身の上を案ずるようなこともしよう。

◆ 話のあらまし

遊女のお初と徳兵衛は、深く愛し合う仲でしたが、平野屋の主人は徳兵衛を妻の姪と結婚させようと、徳兵衛の継母に持参金を渡しました。徳兵衛は、この話を断ったのですが、そうすると持参金を返さねばなりません。その持参金を返すつもりでいたところ、友人の九平次にうまく言いくるめられて、騙し取られてしまうのです。返す持参金はない。九平次からは罵倒される。男の一分が立たなくなった徳兵衛とお初は、曾根崎の森に死に場所を求めてさまよい、心中するのです。

